



Kiwaniis®

第 39 回国際キワニス日本地区年次総会埼玉大会の議事報告

日時：2015 年 9 月 4 日（金）14:30～16:50

場所：清水園 1 階 寿

議長：ガバナー代理 小川恵三

進行：事務総長 石原正之

1. 開会宣言：定刻に小川ガバナー代理から開会宣言がなされ、日本地区規約第 9 条に基づき、議長に就いた。
2. 国歌斉唱
3. ガバナー代理並びに来賓挨拶

(1) 小川ガバナー代理

国際キワニス創立 100 周年となった記念すべき年に、本総会が 400 名近い多数の参加を得て、この埼玉で開催されることを心より感謝する。堀井ガバナーの昨年 10 月の不慮の事故により、ガバナー代理を務めてきたが、各クラブ、会員の皆様のご協力とご支援のお蔭で、今年度事業の重点項目についてはそれなりに大きな成果を得ることが出来た。これからも世界及び日本の子ども達のために、次の 50 年、100 年に向かってキワニス活動を一層活発に推進して参りたい。最後に、この 1 年間、準備にご尽力いただいた埼玉クラブの皆様は厚く御礼申し上げる。

(2) ケニス・アロベラ国際理事（日本地区カウンセラー）

この荣誉ある総会にカウンセラーとして参加でき、光栄である。日本地区は、会員増強とエリミネイト・キャンペーンで大きな成果を上げている。会員増強では今年度 3 クラブが新設され、キワニスの名の下に子ども達に奉仕する手が更に広がった。エリミネイトでは、日本は世界で 6 つしかない目標 100%達成地区であり、会員一人当たり寄付額は世界第 2 位である。今後とも、小川ガバナー代理とそのチーム、そして倉田次期ガバナーのリーダーシップに期待したい。日本の人々の文化、規律、礼節が、国及び日本地区の成功を確実なものにしていると信じている。

(3) フアン・チア・シン国際キワニス財団次々期会長（日本地区カウンセラー）

100 周年を祝う今年、我々はエリミネイト・プロジェクトで 1 億ドルを調達した。日本地区には、このキャンペーンで最高レベルの貢献をいただいている。国際キワニス財団では、2013 年から新しいアニュアル・ギビング・プログラムを開始した。これはクラブのみならず個人（キワニアン以外も）も表彰の対象としており、財団の実のある財源となっている。また、我々は ASPAC の委員長の研修を行っており、コミュニ

ケーションを良くしている。私は財団の次々期会長に選任されたが、これからも皆様のご厚誼とご支援を賜れば幸いである。

4. 総会議題並びに報告事項

議長から、議事に入る前に定足数の確認を求められ、石原事務総長がクラブ数 33 に対し 31 クラブが出席、地区規約第 41 条に基づく必要な定足数の 3 分の 1 を超えており、本総会は有効に成立している旨報告した。

第 1 号議案：2015・2016 年度事業計画書並びに予算書 【資料 H1-1～2】

事務総長より、資料に沿って来年度事業計画と予算書の趣旨説明があり、原案通り、満場一致で承認された。

第 2 号議案：2015・2016 年度役員、監事の選任 【資料 H2-1～2】

来年度の役員として、ガバナーに倉田康男（高松）、次期ガバナーに藤原武平太（東京）、事務総長兼財務担当に淡輪敬三（東京）の各氏が選任された。また、監事に堀辰雄（横浜）氏が承認された。なお、その他の人事についても資料の通り報告され、了承された。

第 3 号議案：第 41 回日本地区年次総会開催地

平成 29 年の年次総会が松江で開催されることが議決され、目下、9 月 8 日（金）の日程で計画されていることが報告された。

第 4 号議案：埼玉大会決議（案） 【資料 H3】

埼玉大会決議については役員会からの提案通り、満場一致で承認された。

第 5 号議案：新日本地区規約（案）の採択並びに規約第 10 条第 1 項に基づく地区年会費に関する総会決議（案） 【資料 H4】

議長の要請により、伊藤規約委員長が資料に基づき、新規約改正の趣旨、概要等について説明、また、地区年会費をクラブ正会員一人当たり 10,000 円（休会員、大学生及びそれらに準ずるものはその半額）とする決議案を提示した。そこで議長が、質問、意見がないことを確認し、一括して採決を問うたところ、満場一致で承認された。

報告事項 1：堀井ガバナーの最近の状況

事務総長から、現在リハビリ中の堀井ガバナーをお見舞いした際の状況が報告され、出席者一同で堀井ガバナーの早期ご快復を祈念した。

報告事項 2：2014・2015 年度事業経過報告並びに決算見込み 【資料 H5-1～2】

事務総長から資料に沿って、本年度 7 月末時点での事業経過報告と決算見込みが説明された。主な内容は、①3 クラブが新設されたこともあって、会員数は 1,946 名となり地区発足以来ピークとなった、②日本地区全体の共通プロジェクト選定の検討結果（現時点では時期尚早）、③キワニスワンデー・コンテストには 16 件 19 クラブの参加があったが、金賞は関西北ディビジョン、④地区最初の SLP としてサークル K 芦屋が発足、等。また、決算見込みについては、収入はほぼ当初予算通りであるが、国際関

係費、委員会活動費の減少により、収支差額は約 93 万円の黒字見込み、というもの。

報告事項 3：キワニス日本財団 (KJF) からの報告 **【資料 H6-1～2】**

小池理事長から、まず KJF 運営協力金及び災害義援金に各クラブから多くのご協力があつたことに感謝の念が述べられ、その後、資料に沿って KJF の来年度事業計画の概要が説明された。

報告事項 4：キワニス共同基金からの報告 **【資料 H7-1～2】**

佐藤運営委員長から、本年度 7 月末までの支援活動及び収支報告があつた。
また、基金の運営も 5 年目に入り、来年度が区切りとなることから、支援プログラム次第で残金が出れば、何かモニュメントのような形になるものを残したいとの意向が示された。

報告事項 5：エリミネイト・プロジェクトの報告 **【資料 H8-1～2】**

北里日本地区コーディネーターから、世界全体及び日本地区の達成状況の説明があつた。このプロジェクトは、一応、本年 12 月が締め切りとなるが、各クラブにおかれてはプレッジの達成に努めていただきたいとの付言があつた。

報告事項 6：国際会費の値上げについて **【資料 H9】**

北里国際理事から、インディアナポリス大会の様子を踏まえながら資料に沿って、国際会費増額（日本地区は Tier A 国として現行\$42 から\$52 へ\$10 増額）についての説明があつた。

5. 2015-2016 年度ガバナー方針説明

倉田次期ガバナーから、「キワニスクラブは地域の子ども達と共に活動します」というキャッチフレーズを掲げて、国際キワニスの「I-Plan」（活動戦略）に沿いつつ、①成長戦略ではクラブ新設と会員数 2,000 人以上の達成、②次世代の育成に力を入れる、③子ども最優先の活動では、どのクラブも独自の看板活動を定める、という 3 点を来年度の重点項目にしたい旨の方針が示された。

6. 第 40 回日本地区年次総会開催地会長挨拶

西宮クラブの安原会長から、来年 9 月 9 日（金）に大阪のリーガロイヤルホテルに於いて西宮大会を開催するので、是非、多数のご参加をお願いしたいとの挨拶があつた。

7. 表彰式 **【資料 H10】**

(1) 第 51 回日本キワニス文化賞

小鹿野歌舞伎保存会（小鹿野子ども歌舞伎）、小針領家獅子舞保存会の 2 団体

(2) ロバート P.コネリー賞/日本キワニス財団英雄的自己犠牲賞

故中村のり子氏（享年 60 歳、本庄市）

(3) 国際キワニス/国際キワニス財団からの表彰伝達

(4) 日本地区の表彰

キワニスワンダー・コンテストを含む地区からの表彰を資料の通り、該当クラブ、優秀会員に対し行った。 以上



【資料 H1-1】

2015-2016 年度（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

国際キワニス日本地区事業計画（案）

本年（平成 27 年）1 月、デトロイトキワニスクラブが創立 100 周年を迎えた。
また 6 月には、国際キワニス本部のあるインディアナポリスにおいてキワニス 100 周年記念の世界大会が開かれた。国際キワニスの役員選挙、規約の改正などの議事も終わり、国際キワニス初の次期女性会長（Sue Petrisin）が指名され、「これからのキワニス百年にむけて第一歩を踏み出そう」と高らかに宣言した。「キワニスは一人ひとりの子どもの為、一つ一つの地域の為に、惜しみなく時間と資金を捧げて、世の中を良くする輪を広げる世界的な組織です、皆で一緒にやりましょう」というスローガンの下、その活動の戦略として『キワニス I-PLAN』という次の 4 項目を掲げている。

- Inspiration** 世界の子供達が生徒に育つよう、皆に働きかける
そのために会員を増やし、クラブを増設し、リーダーを育て、
奉仕活動に人々を集め、会員体験を重んじ、ネットワークを広げよう
- Impact** 「子供達優先」のための影響力のある奉仕活動をする
そのために地域のニーズに合わせて、
各クラブ独自の奉仕活動プロジェクトをたて、実際に汗を流そう
- Image** キワニアンが力強く声をそろえて、キワニスの使命を世界中に知ってもらう
そのためにキワニスブランドの統一と明確な説明の下、
プロジェクトを推し進めよう
- Investment** 信用できる財務と運営を確保する
そのために適切な資産管理、会費以外にも収入、会費集めの簡素化、
財務の学習、キワニス子ども基金作りなどを行おう

キワニス日本地区も次のような新年度の目標、計画を立て、活動して行きたい。

I. 世界キワニスのモットーである“Serving the children of the world”と連動する

キワニス日本地区のスローガン

『キワニスクラブは地域の子ども達と共に活動します』

というキャッチフレーズを掲げたい。即ち他の団体とは異なり、キワニスは、「子どものために活動する」団体であることを強調し、また子ども達と共に活動することで、私達キワニアンも、楽しみながら何時までも若々しさを保っていく。

II. 日本地区活動方針として、次の3点を重点項目として活動したい。

1. 成長戦略

「数は力」であり、会員数が多いほどキワニス活動の幅とインパクトが大きくなる。
成長戦略委員会を中心に、会員数 2,000人以上 を達成する。そのため

- ① クラブ新設（未設置県多数あり。チャーターメンバーは15人必要）
ディビジョン毎に最低1クラブの新設目標を設定し、現会員の持つ様々な人脈を活用し、またクラブサテライトのクラブへの昇格なども視野に進める。
- ② クラブサテライトの増設（現在日本地区全体で14あり。メンバーに数の制限なし）
ディビジョン毎に最低1クラブの新設目標を設定し、企業や行政へのPRと働きかけを進める。（例 昨年度仙台クラブが親クラブとなって、仙南サテライトが発足）
- ③ 現クラブの増強と維持（クラブの魅力ある活動や会員・家族間の親睦が大切）
各クラブの「会員増強委員会」を活発化、女性会員の増加 法人会員の増加 退会者の減少を図る。

2. 次世代の育成（SLP）

キワニスファミリーには私達成人のキワニスクラブの他に（サークル K 大学生組織； キークラブ 高校生組織； ビルダーズクラブ 中学生組織； K キッズ 小学生組織； アクションクラブ 障害者組織）があり、世界中で多くの若者達にキワニス経験が広がり将来の会員増にも繋がっている。

青少年教育委員会とユースクラブ推進委員会を中心に、地域の若者によるボランティア活動の組織を支援し、若い世代との交流を活発化したい。

- ① サークル K（大学生主体で大学内のボランティアクラブや大学間のボランティア団体）の活動をキワニスクラブが支援（例、昨年度芦屋クラブがスポンサーとなって日本地区第1号のサークル Kが誕生）
- ② キークラブ設立の検討（教員などのサポート体制が必要）
- ③ K コープスの日本地区での可能性を検討（キワニアンの15歳～18歳の子どもや孫の海外交換制度が来年度から欧米のキワニスクラブ間で始まる）

3. 奉仕活動（子ども最優先）

子ども最優先委員会、マーケティング・広報委員会を中心に様々な奉仕活動を企画・実行する。

- ① 国際キワニスの共通プロジェクト（エリミネイト、キワニスドール、キワニ

スワンデー、児童虐待防止)を推進、協力する。

- ② 現在日本地区の各クラブで既にキワニスの冠行事として実施中のクラブ独自の(キワニスドール・シンポジウム;キワニスカーの贈呈;花いっぱい運動;子供歌舞伎などの伝統文化の保持発展;スポーツ大会;キャンプ;里山学校;チビッ子大使;創意工夫展;作文コンクール;子育ての会支援;読み聞かせ;乗馬会;里親会;スピーチコンテスト;子どもの村;養護施設やハンディーのある子どもの支援;マターニティーコンサート;少年ボランティア発表会)など、地域の子ども達と共に楽しんでいる活動を「一村一品キワニス活動」として位置づけ、どのクラブも独自の看板活動一個以上を定める。またこの中でも長期的に続き、さらに各クラブで積極的に共有して拡大強化できるプロジェクトを「キワニス」ブランドとして確立する。

III. キワニス日本財団(KJF)との連携

KJFはキワニスクラブと車の両輪である。エリミネイトプロジェクトの達成と合わせて、KJFへの寄付(メリットとして所得税控除あり)を推進し、同時に各クラブがKJFを十分に活用して、奉仕活動に役立てる。

IV. キワニス国際交流を活発化する。

- ① 平成28年3月10日~3月12日に行われる台中(TAICHUNG)市での第41回ASPAC(アジア太平洋)年次総会
- ② 平成28年6月23日~6月26日にカナダのトロント(TORONTO)にて行われるキワニス世界大会
- ③ 平成28年9月9日に行われる第40回国際キワニス日本地区年次総会(西宮大会)に多数参加して国際的ボランティア団体「キワニス」を楽しむ。

V. その他

- ① 各種表彰制度の継続
役員会が定める表彰基準(10月30日の第1回役員会で公表)に基づき、模範的なクラブ活動や個人の貢献に対し、地区大会で表彰を行う。また、KJFと連携して、恒例の日本キワニス文化賞、英雄的自己犠牲賞を実施する。
- ② 国際キワニスの地区常任委員会の変更(2016年10月1日)及びI-Planに関するリーダーシップの役職変更に伴い、これらへの日本地区としての対応を検討する。

「チーム キワニス」として地区一体で共通目標に向かって努力したい。

以上

国際キワニス日本地区
2015-2016年度 収支予算書(案)
(平成27年10月1日から平成28年9月30日)

(単位:千円)

科 目	2015-2016 予算額 a	2014-2015 予算額 b	対前期比 増 減 (a-b)	2014-2015 決算見込 c	2015-2016 予算対比 (a-c)	予算額 a、備考
1 (収入の部)						
2 会費収入	18,500	17,500	1,000	17,420	1,080	1万円×1800人=18000、 5千円×100人=500
3 協力金収入	1,166	1,120	46	1,127	39	キワニスジャパン@ ¥530×2200冊
4 雑収入	5	40	-35	16	-11	
5 当期収入合計(A)	19,671	18,660	1,011	18,563	1,108	
6 前期繰越収支差額	4,630	3,694	936	4,630	0	
7 収入合計(B)	24,301	22,354	1,947	23,193	1,108	
8 (支出の部)						
9 事業費	7,250	7,630	-380	6,844	406	
10 表彰費	50	50	0	50	0	
11 総会開催地区負担金	800	800	0	800	0	
12 国際関係費	500	500	0	150	350	
13 委員会活動費	1,100	1,100	0	650	450	成長戦略500、広報400、青少年100 他
14 印刷製本費	1,780	1,780	0	1,780	0	名簿(2600冊)449、キワニスジャパン (2250冊)1196、西宮大会120他
15 通信運搬費	200	200	0	150	50	
16 OA関連費	620	500	120	375	245	システム関連費(東京クラブと折半 243)
17 日本文化賞助成	700	700	0	700	0	
18 KJFプロジェクト支援	1,500	1,500	0	1,400	100	
19 100周年記念キワニス・ワン・デー	0	500	-500	480	-480	
20 支払寄付金	0	0	0	309	-309	
21 管理費	11,100	10,735	365	10,781	319	
22 人件費	4,800	4,870	-70	4,800	0	
23 旅費交通費	3,200	2,920	280	3,000	200	世界大会900、ASPAC400、西宮300、 役員会関係930、公式訪問620他
24 家賃・共益費	2,100	2,145	-45	2,073	27	
25 会議費	500	300	200	428	72	
26 その他雑費	500	500	0	480	20	
27 予備費	500	500	0	0	500	
28 当期支出合計(C)	18,850	18,865	-15	17,625	1,225	
29 当期収支差額(A)-(C)	821	-205	1,026	938	-117	
30 (その他資金収入の部)						
31	0	0		0		
32 (その他資金支出の部)						
33	0	0		0		
34 次期繰越収支差額(B)-(C)	5,451	3,489	1,962	5,568	-117	

＜2015-2016国際キワニス日本地区人事＞

- ①ガバナー (高松) 倉田 康男 (倉田学園 理事長)
- ②次期ガバナー (東京) 藤原 武平太 (互助会保証㈱ 顧問)
- ③事務総長/財務担当 (東京) 淡輪 敬三 (タワーズワトソン㈱ シニア・アドバイザー)
- ④副ガバナー (各デビジョンで協議決定:報告)
- 副ガバナー(東京デビジョン)1 (東京) 吉國 眞一 (㈱みずほ証券 リサーチ&コンサルティング理事長)
- ―(中部デビジョン)2 (名古屋) 竹内 和男 (東栄㈱ 代表取締役会長)
- ―(関西西南デビジョン)3 (和歌山) 岩橋 一博 (丸新産業㈱ 代表取締役)
- ―(中国・四国デビジョン)4 (広島) 森元 弘志 (広島文化学園 理事長)
- ―(関西北デビジョン)5 (神戸) 荒木 重典 (神戸元町法律事務所 弁護士)
- ―(北海道・東北デビジョン)6 (仙台) 峯岸 良慥 (㈱一条工務店宮城 代表取締役)
- ―(関東デビジョン)7 (埼玉) 男澤 望 (毎日興業㈱ 常務取締役)
- ―(九州デビジョン)8 (福岡) 山口 毅 (山口油屋福太郎 社長)
- ⑤常任、特別委員長・監事 (2014-2015次期ガバナー指名:報告)
- << 常任委員会 >>
- 成長戦略委員長 (熊本) 米澤 房朝 (㈱ヨネザワ 代表取締役社長)
- 財務委員長 (東京) 広畑 史朗 (明治安田生命保険 顧問)
- マーケティング・広報委員長 (東京) 古屋 俊彦
- 子ども最優先委員長 (横浜) 杉田 義朗 (共同不動産鑑定システムズ合同会社 代表)
- 決議委員長 (高松) 倉田 康男 (倉田学園 理事長)
- 規約委員長 (東京) 伊藤 康成 (三井海上火災保険㈱ 顧問)
- 歴代ガバナー委員長 (東京) 大堀 太千男 (交通事故総合分析センター 顧問(非常勤))
- リーダーシップ研修委員長 (東京) 吉田 浩二 (保険コンサルタント)
- ユースクラブ推進委員長 (西宮) 荒川 薫
- 青少年教育委員長 (芦屋) 多田 玲子 (大阪教育大学・神戸親和女子大学 講師)
- 国際キワニス財団委員長 (東京) 淡輪 敬三 (タワーズワトソン㈱ シニア・アドバイザー)
- << 特別委員会 >>
- 文化委員長 (西宮) 重盛 徹志 (新コスモス電機㈱ 代表取締役社長)
- コネリー賞推薦委員長 (西宮) 河合 洋成 (産経新聞 阪神支局長)
- エリミネイト・プロジェクト推進委員長 (東京) 北里 光司郎 (㈱シナジー 代表取締役会長)
- << 監 事 >> (横浜) 堀 辰雄 (堀辰雄税理士事務所 所長)

2015-2016次期ガバナー候補プロフィール

藤原 武平太 (ふじわら ぶへいた)

生年月日	1940年4月24日		
最終学歴	東京大学法学部 米国エール大学大学院経営学修士		
略歴	1964/4	通商産業省入省	
	1989	名古屋（現中部）通商産業局	局長
	1991	通商産業省通商政策局	次長
	1992	駐ブルガリア共和国	特命全権大使
	1995-2003	シャープ(株)	常務・代表取締役専務
	2003-2008	(独) 情報処理推進機構	理事長
	2008-2012	互助会保証(株)	代表取締役社長・相談役
現職	互助会保証(株)顧問		
所属クラブ	東京		
入会年月日	1998年11月1日		
皆勤年数	5年		
キワニス歴	2009年10月－2011年9月 東京キワニスクラブ役員 2011年10月－2013年9月 東京キワニスクラブ副会長 2013年10月－2014年9月 東京キワニスクラブ会長 2013年11月－2014年11月 日本地区副ガバナー		



Kiwanis®

埼玉大会決議（案）

平成 27 年 9 月 4 日

1. 国際キワニスの第 2 世紀のスタートにあたり、会員の増強とクラブ新設を図り、日本地区キワニスの拡大を推進しよう。
2. 各クラブの地域に役立つ YCPO（子ども最優先）の奉仕活動を進めると共に、青少年達のボランティア活動の支援、組織化に積極的に取り組もう。
3. **ELIMINATE**「破傷風から世界中の母と子を守ろう」運動の最終年にあたり、約束した寄付額の達成をしっかりと行おう。
4. 東日本大震災からの復興を支援し、被災地の子ども達の応援を続けよう。

（注 YCPO とは Young Children: Priority One の略）

地区標準規約書式対応日本地区規約全部改正について

はじめに

国際キワニスでは昨年地区標準規約書式を全面的に見直した新版を作成して、全世界の地区に対して本年度中（平成 26・27 年度）の採択を要請している。今般、これに対応した日本地区規約の改正案を作成した。

1. 改正による主要変更点の趣旨

- (1) 各国の多様性を認め、その国内法を尊重
- (2) 全体として条項数を削減し簡素化
- (3) 各地区の選択可能な多数の条項

2. 各条の概要

第 1 条 定義

- この規約上の「クラブ」及び「正会員」の定義を次のとおりとした。
クラブ：国際キワニスにより定義された良好なクラブ。
正会員：当該会員の所属するクラブにおいて良好な会員。

第 2 条 目的及び構成

- クラブと国際キワニスを支援（help）。
- 成長戦略、クラブの教育・研修並びにサービス・リーダーシップ・プログラム及び子ども達のための世界キャンペーン。

第 3 条 地区役員

- 国際キワニス指定する役職のほか国内法で要求されるもの等の追加を容認。（本地区では該当無）
- 事務総長の名称選択可能。（本地区では「事務総長兼財務担当」）
- 選挙後就任までの間の役員当選者には役職名に「designate」（予定者）を付す。（例 Governor-elect designate 次期ガバナー予定者）
- 国際大会、ASPAC 大会出席義務又は勧告
- 現在地区内のクラブ会員である国際理事は役員でなく役員会で発言権のあるオブザーバー。（利益相反となる恐れ）
- 監事は従来通り非役員で本条には記載なし。役員会で発言できる。
- 役員資格を列挙
 - ガバナー及び次期ガバナーは犯罪歴調査が必要でクラブ会長経験者望ましい。
 - 副ガバナーは職務遂行に必要な能力を保持し、かつ、クラブ役員経験者であることが望ましい。

第 4 条 地区役員会

- 定足数を 1/2 から過半数に変更。

- 細則、運営手続制定権を明記。
- 電話（TV）等による会議開催規定明記。

第5条 委員会

- 常任委員会は、国際キワニスと同じ。但し、規約で独自の常任委員会を設置可能。
(本地区では歴代ガバナー委員会)
- 特別委員会は、役員会の承認を得てガバナーが設置できる。
- 規約に別の定めが無い限り委員長及び委員の任免はガバナー

第6条 地区総会

- 総会開催場所選定手続の規定削除、各地区の裁量に任せる。
- 発言時間の制限等「総会における議論」の条項削除。

第7条 役員推薦及び選挙

- 監事の選出は、総会選挙による。
- 次々期（翌々年度の）副ガバナーの選出（既定だが条文が詳細）。

第8条 地区役員欠員

- 前ガバナーの欠員は有資格の直近のガバナー。
- ガバナーの一時的任務遂行不能の際の代理選任は役員会の過半数。

第9条 地区役員処分

- 地区役員が任務を果たさない場合の処分。
- キワニスファミリーに相応しくない行いの定義。
- 役員が免職又は辞職の場合の措置。

第10条 収入

- 年会費の額は総会の3分の2以上で決定。現在は規約に明記。決議案参照。

第11条 財務

- 監事の設置及び選任等の方法（総会で選挙）を新設。

第12条 その他の権限

- 国内法令順守。
- 国際規約等の適用順序。

第13条 改正

- この規約の改正方法。
- 国際キワニスの承認。

第14条 独立有効性

第15条 法人資格付与及び解散

- 地区の法人登録義務（現在日本地区に適用無）。
- 地区の運営停止の場合の資産の適切な分配。

第16条 一般規定

- 政治活動制限、事業年度、事務所の位置

付則

- 施行は10月1日又は国際キワニス承認日のいずれか遅い日

国際キワニス日本地区規約第 10 条第 1 項に基づく地区年会費に関する総会決議（案）

平成 27 年 9 月 4 日

日本地区の年会費はクラブ正会員一人当たり 10,000 円とする。
但し、休会会員、大学生及びそれらに準ずるものはその半額とする。

この決議は、平成 27 年 10 月 1 日から適用する。



【資料 H5-1】

2014-2015 年度
国際キワニス日本地区事業経過報告
(2014/10/1～2015/7/31)

1. 会員増強とクラブ新設

(1) 会員数(目標:2,000名)

2014/8/1:1,843→2015/7/31:1,946 (6%増、日本地区発足以来のピーク)

2014/10/1:1,786 (9%増)

(2) クラブ新設(目標:ディビジョン毎に1クラブ、少なくとも新設目標地2か所の目処)

2015/1/15 秋田

2015/3/24 大垣

2015/5/23 福井

(3) クラブ・サテライト新設(目標:ディビジョン毎に最低1クラブ・サテライト、

日本地区で1～10クラブ・サテライト)

2014/11/19 (仙台) 仙南サテライト

2. エリミネイト活動の一層の推進

プレッジ額達成の目処を立てる

2014/12/22 神戸 ブロンズ・クラブ達成

2015/3/5 京都 モデル・クラブ達成

2015/3/27 金沢 モデル・クラブ達成

2015/5/20 東京 モデル・クラブ達成

3. 子ども達のための奉仕活動の推進

(1) 一村一品キワニス活動

(2) 日本地区全体の共通プロジェクト選定の検討

副ガバナー会議(2回)、フォーラム・研修(2回)、臨時副ガバナー会議、次期副ガバナー会議において討議。結論として、現時点での選定は時期尚早。各地区、各クラブで実施している奉仕活動を一層推進して行くという方向性が示された。推薦課題としては、国内の子ども達の福祉に関わるものに関心。

(3) 東日本大震災復興支援の継続

キワニスクラブ共同基金の運営を中心に。

(4) キワニスドールの普及活動

2014/10/1-2015/7/31 寄贈数: 5,097個、延べ164か所

(前年同期実績: 4,799個、延べ157か所)

4. 若い世代との交流促進

2014/12/1 (芦屋) サークルK 芦屋

5. 国際キワニスとの連携と協力

(1) 国際会議等への積極的参加

2015/3/3~4	ASPAC クラークフィールド研修会	3名参加
2015/3/5~7	ASPAC クラークフィールド大会	41名参加
2015/6/25~27	国際インディアナポリス大会	35名参加

(2) キワニスワンデー・コンテスト

16件、19クラブ参加

金賞: 関西西北ディビジョン(神戸、京都、西宮、芦屋)

銀賞: 名古屋、札幌、大分

銅賞: 東京、大阪、仙台、福島

参加賞: 横浜、高松、千葉、和歌山、新潟、熊本、鹿児島、大垣

(3) KIF への資金協力

① ヒクソフエロー

(目標 10名)実績: 11名

② アニュアル・ギビング・プログラム

2015/8/18 ¥2,102,000

③ その他

ファウンダーズ・サークル(メジャー・ギフト)プレッジ 1名

6. キワニス日本財団(KJF)と連携した公益事業の推進

(1) 災害義捐金

送金日	内容	金額
2015/5/21	バヌアツ・サイクロン	¥1,260,000
(未送金)	ネパール大地震	¥2,057,500

(2) クラブ・プロジェクトへの資金助成

クラブ	プロジェクト	金額
東京	第7回キワニスドールシンポジウムの開催	¥150,000
	青少年社会奉仕団体の交流推進事業	¥300,000
横浜	第20回マタニティーコンサート	¥300,000
	第5回読み聞かせ	¥100,000
京都	子育て支援・京都プロジェクト	¥100,000
和歌山	海外留学生に毎年自転車を5台寄贈	¥100,000
千代田	養護施設出身者の自立支援 毎月3万円の支援	¥300,000
宮崎	みやざき「子どもの貧困」対策支援フォーラム 2016	¥300,000

(3) 一般公募による公益活動への資金助成

① 国内

推薦者	活動内容	金額
埼玉クラブ	「絵本ライブ & 1日こころの相談室」	¥300,000
西宮クラブ	チャイルドケモハウス	¥200,000
長崎クラブ	被ばく70周年平和の祈り 「キッズゲルニカ大会 in ながさき」平和壁画の作成	¥200,000

② 海外

推薦者	活動内容	金額
千代田クラブ	インドネシア ジャカルタの ストリートチルドレンの教育と自立支援	¥300,000
東京クラブ	ジンバブエ友の会(ジンバブエの初等教育支援事業)	¥300,000
JEN	アフガニスタンの病院への医療機器提供 及び医師の急性呼吸器感染症知識向上支援事業	¥300,000

(4) KJF 運営協力金の寄付推進: ¥2,220,000

7. その他

(1) 新クラブ標準規約の採択及び新地区標準規約のフォロー

① 新クラブ標準規約: 23 クラブ採択済み

② 新地区標準規約: 本大会にて採択予定

(2) 各種表彰制度の継続並びに「日本キワニス文化賞」および「英雄的自己犠牲賞」の贈呈

① 日本地区表彰

② 日本キワニス文化賞: 小鹿野歌舞伎保存会(小鹿野子ども歌舞伎)

小針領家獅子舞保存会

③ 英雄的自己犠牲賞: 故中村のり子氏(踏切で立ち往生していた男性を救助しようとした、

ロバート・P・コネリー賞も受賞)

以上

国際キワニス日本地区
2014-2015年度 収支計算書 決算見込(案)
(平成26年10月1日から平成27年9月30日)

(単位:千円)

科 目	2013-2014 前年度実績 a	2014-2015 予算額 b	2014-2015 決算見込 c	2014-2015 予算対比 (c-b)	決算見込、備考
1 (収入の部)					
2 会費収入	16,635	17,500	17,420	-80	1万円×1698人=16980、5千円×88人=440
3 協力金収入	1,063	1,120	1,127	7	キワニスジャパン@¥530×2112冊、@¥500×15冊(前年度分)
4 雑収入	386	40	16	-24	
5 当期収入合計(A)	18,084	18,660	18,563	-97	
6 前期繰越収支差額	3,694	3,694	4,630	936	
7 収入合計(B)	21,778	22,354	23,193	839	
8 (支出の部)					
9 事業費	7,373	7,630	6,844	-786	
10 表彰費	25	50	50	0	
11 総会開催地区負担金	800	800	800	0	
12 国際関係費	735	500	150	-350	埼玉大会
13 委員会活動費	973	1,100	650	-450	成長戦略140、広報400、青少年90他
14 印刷製本費	1,736	1,780	1,780	0	名簿(2600冊)449、キワニスジャパン(2250冊)1196、埼玉大会120他
15 通信運搬費	175	200	150	-50	
16 OA関連費	465	500	375	-125	
17 日本文化賞助成	700	700	700	0	
18 KJFプロジェクト支援	1,200	1,500	1,400	-100	海外案件900、国内案件500
19 100周年記念キワニス・ワンデー	0	500	480	-20	
20 支払寄付金	0	0	309	309	東京千葉大会(防衛弘済会200、エリネイト109)
21 国際年次総会活動費	564	0	0	0	
22 管理費	9,775	10,735	10,781	46	
23 人件費	5,070	4,870	4,800	-70	
24 旅費交通費	1,899	2,920	3,000	80	インテアホリス971、ASPAC324、埼玉280、役員会関係931、ガバナー公式訪問他494
25 家賃・共益費	1,856	2,145	2,073	-72	
26 会議費	310	300	428	128	歴代ガバナー会議他
27 その他雑費	640	500	480	-20	
28 予備費	0	500	0	-500	
29 当期支出合計(C)	17,148	18,865	17,625	-1,240	
30 当期収支差額(A)-(C)	936	-205	938	1,143	
31 (その他資金収入の部)					
32	0	0	0		
33 (その他資金支出の部)					
34	0	0	0		
35 次期繰越収支差額(B)-(C)	4,630	3,489	5,568	2,079	

公益財団法人キワニス日本財団平成 28 年度事業計画書（案）

1. 期間

平成 28 年度の公益財団法人キワニス日本財団（以下財団という。）の事業計画は平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日までのものである。

2. 事業内容

1) 国内公益目的事業への資金助成（公 1）

下記(1)～(4)に掲げるような事業に対し資金助成を行なう。（公募による場合は(1)～(3)につき合計でおおむね 6 件 180 万円、(4)につきおおむね 2 件 60 万円）

(1) 各キワニスクラブが行なう児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業。

(2) 各キワニスクラブが行なう教育・スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業。

(3) 各キワニスクラブが行なう地域社会の健全な発展を目的とする事業。

(4) 広く一般から公募したキワニス日本財団の定款の目的に沿った事業。

2) 文化及び芸術の振興を目的とする表彰事業（公 2）

国際キワニス日本地区とともに、日本の伝統文化の伝承にあたり、特に功績のあった人物又は団体で、比較的世間に知られず、苦勞を重ねている人々を広く探し求め、その中から毎年 1 件ずつ選んで表彰する日本キワニス文化賞の授与を行っているが、本年度もこれを行い、その勞をねぎらうと共に、その存在を広く紹介し、日本の優れた伝統文化の保持発展に貢献する。

3) 重大な災害に対する援助を目的とする資金援助（公 3）

毎年発生する国内外の大規模災害のうち、その被害甚大で特に子どもが著しい悪影響を受けた災害について、災害義捐金を贈ることとしているが、本年度も災害発生の際、国際キワニス又は日本地区と協議し、援助する案件を定め、直ちに募金活動を行い、これを義捐金とする資金援助を行なう。国内の災害の場合は当該の都道府県、該当キワニスクラブ等を経由して被災地に贈り、海外の場合は国際キワニス財団又は各国の国際キワニスの地区を経由して被災地に贈る。

4) 他人のために自己を犠牲にする社会的行為を表彰する事業（公 4）

自己の命や身体への危険を顧みずわが身を挺して人の命を救った人の英雄的行為を称え、英雄的自己犠牲賞を贈ることとする。この種の賞は国際キワニス

財団でも従来からコネリー賞として行っており、これに該当するかどうかは国際キワニス財団の選定委員会の意向によるが、本財団としては、国際キワニス財団の結果いかんにかかわらずこのような該当者を別に定め細則に従い表彰しようとするものである。

5) 海外からの要請に基づく公益目的事業への資金援助（公5）

内外のキワニスクラブ又は国際的な公益目的事業を行っているその他の非営利団体からの要請によりその海外で行う定款第4条第1項に定める事業に該当する事業対し予算の範囲内（おおむね3件90万円）で資金助成を行う。

6) 世界の子ども達に奉仕する事業への資金援助（公6）

(1) 平成28年度においても国際キワニス財団（KIF）が毎年実施するアニュアル・ギビング・プログラム（AGP）に参加し、国際キワニス日本地区（以下日本地区という。）の会員一人当たり1,500円の募金活動呼びかける。（この事業で寄付された資金は国際キワニス財団へ納められるが、国際キワニス財団との協定に基づき、その承認を得て、当財団の資金助成事業の財源として使用可能。）

(2) 国際キワニス（KI）および国際キワニス財団（KIF）が行っているワールド・サービス・プロジェクトであるエリミネイト・プロジェクト（妊産婦・新生児破傷風撲滅運動）に引続き参加し、募金活動を行う。

(3) 平成23年度からヒクソン等の当財団を通じずる国際キワニス財団への寄付金についてもKIFとの協定に基づき、当財団の資金源として使えることになったので、その推進に努める。

（財団の財政基盤の強化）

3. 財団の財政基盤の強化を図るため、基本財産（現在1,714万円）の他に特定資産勘定（長期運用資産勘定）を設け、長期的運用を目的とする資金の寄付があった場合はこれに組み入れ、より効率的な資産運用が可能することとし、長期的にクラブやキワニアン等からの拠出金をお願いすることとし、日本地区とともにその促進策を推進する。なお、寄付者が基本財産への組み入れを強く望む場合はそのように処置するものとする。

（管理費を賄うための運営協力寄付金の要請）

4. 平成28年度の管理費を賄うため、各キワニスクラブに対して、会員一人当たり年間1,500円の寄付を要請することとする。

以上

公益財団法人キワニス日本財団
平成28年度予算
(平成27年10月1日から平成28年9月30日まで)

	28年度予算	27年度決算 見込	27年度予算	備 考
1 収入の部				
2 【経常収入】				
3 《基本財産等受取利息》				
4 基本財産受取利息	100,000	76,340	100,000	
5 《特定資産等受取利息》				
6 特定資産受取利息	30,000	30,000	0	
7 《事業収入》				
8 (寄付・募金収入)				
9 災害義援金募金収入	3,000,000	3,332,500	3,000,000	過去実績からの推定値
10 アニュアルギビングプログラム寄附金収入	2,100,000	2,102,000	2,100,000	1500円×約1890名(歩留を見込み本年実績並)
11 ヒクソン等寄附金収入	0	0	0	過去2年の実績が0円のため
12 エリミネイト寄附金収入	13,000,000	20,540,000	8,000,000	日本地区のプレッジ残額(4千万円)の1/3
13 その他寄付金収入	0	0	0	
14 (助成金収入)				
15 地区からのプロジェクト等への助成金	1,500,000	1,400,000	1,500,000	
16 KIFからのプロジェクト等への助成金	1,800,000	1,850,000	1,800,000	
17 日本キワニス文化賞助成金	700,000	700,000	700,000	地区からの助成金
18 コネリー賞助成金	25,000	0	25,000	KIFコネリー賞の一時的受け入れ
19 (雑収入)		1,040		利息収入他
20 事業収入計	22,255,000	30,031,880	17,225,000	
21				
22 《管理費収入》				
23 運営協力寄附金	2,300,000	2,220,000	2,100,000	1500円×約1890名(歩留を見込み本年実績並)
24 経常収入計(A)	24,555,000	32,251,880	19,325,000	
25				
26 【資産収入】				
27 基本財産等への寄付金	0	0	1,000,000	基本財産寄附金推定値
28				
29 収入合計(B)	24,555,000	32,251,880	20,325,000	
30 支出の部				
31 【経常費用】				
32 《事業費》				
33 公1:国内公益目的事業	2,400,000	2,350,000	2,400,000	各クラブ案件6件(30万円/1件)公募案件2件(30万円/1件)
34 公2:文化、芸術振興事業	700,000	700,000	700,000	日本キワニス文化賞50万円、運営費20万円
35 公3:災害援助目的事業	3,000,000	3,332,500	3,000,000	過去実績からの推定値
36 公4:自己犠牲の社会的行為表彰事業	125,000	100,000	125,000	コネリー賞及びKJF賞
37 公5:国際交流、協力事業	900,000	900,000	900,000	海外案件3件(30万円/1件)
38 公6:世界の子どものための奉仕事業に対する資金	15,100,000	22,642,000	10,100,000	エリミネイト、AGP等KIFへの協力拠出金
39 旅費交通費	10,000	10,000	0	
40 会議費	8,000	7,200	0	
41 通信運搬費	10,000	11,415	0	
42 印刷製本費	2,000	1,060	0	
43 事業費計	22,255,000	30,054,175	17,225,000	
44				
45 《管理費》				
46 会議費	200,000	110,000	300,000	
47 旅費交通費	700,000	475,870	900,000	理事会他
48 通信運搬費	50,000	30,000	50,000	
49 広報費	400,000	388,800	400,000	ホームページ維持費用
50 印刷製本費	100,000	45,000	100,000	
51 事務委託費	600,000	0	0	東京クラブへ委託(5万/月)
52 管理諸費	200,000	177,000	270,000	
53 租税公課	600	600	0	
54 予備費	49,400	0	80,000	
55 管理費計	2,300,000	1,227,270	2,100,000	
56				
57 経常費用計(C)	24,555,000	31,281,445	19,325,000	
58				
59 経常収支差額(A)-(C)	0	970,435	0	
60				
61 【資産支出】				
62 基本財産等への繰入	0	0	1,000,000	基本財産寄附金推定値
63				
64 支出合計(D)	24,555,000	31,281,445	20,325,000	
65				
66 当期収支差額(B)-(D)	0	970,435	0	
67				
68 一般正味財産期首残高(E)	3,955,534	2,985,099	2,985,099	
69 一般正味財産期末残高(B)-(D)+(E)	3,955,534	3,955,534	2,985,099	
70				

キワニスクラブ共同基金運営報告書

(2015 年 7 月 31 日現在)

キワニスクラブ共同基金運営委員会

東日本大震災から 5 年目に入り岩手県は順調に進んでおりますが、それでもなお 50% 位の復興状況です。

宮城県の高上げ工事は 30%位で、福島県は原発の影響があり 20%位、宮城県女川町のように復興計画が順調に進んでいても 50%程、JR が開通してこれから復興が早まると思います。

また、高速道路常磐道路が全線開通して、福島県も復興が早まると思われます。

しかし、被災地での人口流出は止まらず、特に若い人たちが地元に戻っておりません。5 年目にも入ると生活基盤が他の市や町に移っており、また戻っても働く場所がないのが現状です。

共同基金運営委員会の主な支援活動としては、子ども達に防災・減災についての知識を普及し、リスク判断力の向上を目指す防災教育の支援、野蒜野球スポーツ少年団に対して野球道具一式を提供、ピアニスト栗津礼子さんのピアノコンサートを気仙沼市中央公民館南条分館で開催し、参加者は 60 名でした。

又翌日の気仙沼市中央公民館での参加者は 160 名で、生の演奏に心が癒されたという話しを聞きました。

当日は、東京都西町インターナショナルスクールの生徒から激励の寄せ書きも紹介され、参加者もそれに返事を書き交流を致しました。

なお、今年の 7 月 7 日気仙沼中学校体育館で全生徒を対象に、映画の上映とピアノコンサートも行なわれました。

札幌クラブでも札幌市に被災地より転居した子ども達に対し、演奏会に招待し心を癒してあげることが出来ました。

また、千葉クラブから申請があった、被災地でのパフォーマンスを行う「小さなテントサーカス」の支援、宮城県南部にある山元町坂元では仮設住宅生活で勉強の環境が悪くなり、不登校になった生徒達に勉強する環境を整備する NPO 法人への支援、福島医科大学に対しても Ipad・ブルーレイドライブを支援致しました。

5 年目に入り、支援の在り方も非常に難しく、つくづく根気のいることだと感じております。

別紙に支出の内容を表にして有りますのでご参照下さい。

なお最終年度の支援プログラムを別紙のように予定しております。
その上で、残金があれば「キワニスクラブの支援」を刻んだモニュメントなど、形に残るものを残したいと考えております。

キワニスクラブ共同基金収支明細報告
(2014/8-2015/7)

2014/7月末残高 10,723,764円

<収入の部>

入金日	収入
2014/8/9 利息	893
2015/2/14 利息	805
	1,698

前期残高 10,723,764+ 今季収入1,698 = 10,725,462

<支出の部>

申請No	支払日	申請団体	支出	
32-1	2014/9/22	相馬市児童ふれあい体験教室	500,000	被災した子ども達のためのふれあい体験教室
33-1	2014/9/22	福の鳥プロジェクト	340,000	被災した子ども達のための自然学習の支援
34-1	2014/11/28	野蒜野球スポーツ少年団	488,700	スポーツ少年団への野球道具整備の支援
35-1	2014/12/26	東北大学減災教育研究助成基金	500,000	減災教育プロジェクト事業を支援
37-1	2015/2/17	仙台市スポーツ振興事業団	200,000	被災した子ども達のフットサル大会支援
38-1	2015/2/17	北海道NPO被災者支援ネット	479,000	クラシックコンサート等のイベント
36-1	2015/3/16	福島医科大学	145,152	子供達のための視聴覚環境増強
39-1	2015/3/18	音の種まきプロジェクト	65,560	罹災者のためのコンサート
41-1	2015/4/22	特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会	500,000	小さなテントサーカス実施の交通費・宿泊費
42-1	2015/4/22	一般社団法人まなびの森	476,000	不安定な生徒達の指導支援員雇用人件費
40-1	2015/5/18	NPO法人アースウォーカーズ	350,000	被災地の子どもへホームステイの支援
48-1	2015/7/13	NPO法人えべつ楽友協会	320,000	被災者のためのコンサート
46-2	2015/7/22	一般財団法人 あづま保育園	184,706	発達障害のある子どもの支援センターへ絵本を贈呈
45-2	2015/7/22	一般財団法人 大原総合病院	196,830	被災した病院へ絵本を贈呈
46-2	2015/7/28	一般財団法人 あづま保育園	128,217	発達障害のある子どもの支援センターへ遊具を贈呈
47-1	2015/7/28	相馬市教育委員会	237,600	相馬こどもドームへ大型掛け時計贈呈
			5,111,765	

2015/7月末残高 5,613,697円

申請及び2016年度申請予定

	申請団体	申請額	申請内容
※	仙台クラブ	234,360	仮設校舎の花壇に門扉取付
※	福島クラブ	480,000	被災した子どもの屋外活動支援
※	福島クラブ	100,000	子ども達や障害者の音楽祭協賛
	福島クラブ	300,000	子ども用の絵本、DVD贈呈
	日本赤十字病院	300,000	子ども用の絵本、遊具贈呈
	福島復興コンサート	500,000	被災した親子をコンサートへ招待
	福島復興CD支援	500,000	福島県内幼稚園、小中学校、障害者施設へ復興CD贈呈
	札幌クラブ	400,000	1月開催予定のクラシックコンサートへ招待
		500,000	「3.11」事業
		300,000	コンサート(予定)
	千葉クラブ	500,000	被災した子ども達のためのテントサーカス支援
	仙台クラブ	500,000	被災した子ども達のためのマラソン大会支援
		300,000	被災した子ども達のための卓球大会支援
		300,000	被災した子ども達のためのコンサート
	泉音楽院	300,000	秋田クラブ主催、被災者のためのクラシックコンサート
		5,514,360	合計

19 ※申請中

実際行うときは厳しく算定して決めたいと思います。



エリミネイト・プロジェクトについて (破傷風から世界の母と子ども達を救おう)

日本地区エリミネイト・コーディネーター 北里光司郎

1. 要点

- (1) エリミネイト・プロジェクトは、最終年 5 年目「お祝いをする」年に入りましたが、6 月末締めくくりの予定が 2015 年 12 月末まで延長になり、いよいよホームストレッチにさしかかり最終成果の達成に向けて、ばく進しているところです。
- (2) 2015 年 8 月時点で、世界全体の募金総額は、\$ 100 million に到達しました。これにより、55 百万人の母親と産まれてくる赤ん坊を救ったこととなります。
- (3) 最近の大きな話題は、インディアナポリスにおける国際年次総会において Key Club International の会長のマリア・パラゾロさんが、今後 5 年間で \$ 3 million の募金をするプレッジを発表したことです。Key Club は既に \$ 4 million の募金を集めており、合計で \$ 7 million の募金額となります。高校生のボランティア・グループがこれだけのコミットをして募金活動をするスケールの大きさには驚かざるを得ません。
- (4) 日本地区は、実際支払金額とプレッジベースで、既に目標の 115% を達成しました。会員 1 人当たりの寄付額では、西部カナダ地区に次ぎ、世界第 2 位に位置しています。円安による影響で実質目標額が 50% 増になったにも関わらず、このような素晴らしい成果を達成できたことについて、日本地区各クラブの皆様のご努力に感謝します。各クラブではプレッジ額について実際の支払いをしっかりと実行してください。既に 9 のクラブがプレッジ金額の達成をしています。100 周年記念特別章やメジャー・ギフト、ゼラー等は、今年末まで受け付けますので、志のある方は是非これらの寄付をご検討ください。
- (5) 新設クラブについては、今から目標等は不要ですが、Eliminate Project への全クラブ参加の実績を残す為に、会員 1 人 1,000 円の募金を各クラブで集めて寄付をしていただくようお願いいたします。オールジャパンで、最後までテンションを落とさずゴールまでトップランナーとして走り続け、皆で喜びを分かち合いましょう。

2. エリミネイト・プロジェクトの進捗状況

キワニスの募金活動とユニセフの医療ネットワークにより、妊産婦・新生児破傷風の撲滅が着々と進められ、最近モーリタニアが新たに撲滅国に

認定されました。これにより、当初の対象国 40 か国のうち、既に 19 か国が撲滅国になり、エリミネイトの対象国は 21 か国となっています。

撲滅国 (19 か国) ウガンダ、ガーナ、リベリヤ、セネガル、ブルキナファソ、ギニアピサウ、タンザニア、東ティモール、中国、カメルーン、イラク、コートジボワール、ラオス、ガボン、シエラ・レオネ、マダガスカル、モーリタニア、カンボジア、インド

対象国 (21 か国)
 アジア太平洋： インドネシア、パプアニューギニア、フィリピン、パキスタン
 アフリカ： アンゴラ、中央アフリカ共和国、チャド、コンゴ共和国、赤道ギニア、

エチオピア、ギニア、ケニア、マリ、ニジェール、ナイジェリア、ソマリア、
南スーダン、スーダン
中東： アフガニスタン、イエメン
アメリカ大陸： ハイチ

3. 日本地区は会員一人当たりの寄付額ランキングで世界第二位。

日本地区は、この3年間会員一人当たりの寄付額ランキングで世界一位を続けていましたが、最近西部カナダに抜かれ、2位になった。しかし、日本、マレーシア、オーストラリアとASPACの3地区が世界ベスト5に入っているのも注目すべきことです。また、寄付金プレッジ総額では台湾が、\$7 millionで断トツの世界1位になっており、第2位を大きく引き離しています。世界の会員一人当たりの寄付額は、\$415.42です。

1位	西部カナダ	\$873.07
2位	日本	\$724.65
3位	マレーシア	\$618.38
4位	オーストラリア	\$603.40
5位	ニュージャージー	\$573.28

(2015年8月15日現在)

4. 日本地区の最新の基本データ

日本地区基本必要額 (need)	\$783,394	(会員1人当り\$474をかけた金額)
日本地区修正目標額 (goal)	\$1,046,650	
日本地区最新実績 (2015/7/31)	\$1,202,149	(基本必要額の153%、修正目標額の115%を達成)
ゴールドクラブ	1クラブ	(西宮)
モデルクラブ	18クラブ	(東京、名古屋、大阪、仙台、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、泉州、西宮、熊本、静岡、金沢、松江、児島、大分)
100Kクラブ	2クラブ	(東京、名古屋)
シルバークラブ	9クラブ	(広島、新潟、埼玉、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎)
ブロンズクラブ	2クラブ	(神戸、札幌)
ゼラー	108口	
エリミネイト指定ヒクソン	135口	
メジャー・ギフト (\$25,000以上)	7名	(西宮 八木良三会員、名古屋 堀籠登喜雄会員、大阪 矢野隆司会員、東京 山口知子会員、堀井紀壬子会員、青野厚子会員、北里光司郎会員)

5. 世界全体の達成状況

- (1) 目標総額\$110 million 対して、2015年8月ベースで、\$100 million を達成。55 百万人の生命を救済。
- (2) クラブ参加率 84% (日本地区は91%参加)
- (3) モデルクラブ 1,050 (日本地区は18)
- (4) 最終年に入り、北米地区を中心に大口の寄付活動が目立ってきました。今年2月に、カナダ首相が、UNICEF Canada と Kiwanis Canada による Canada \$ 2.5 million の寄付に対して、Canada \$ 2.5 million のマッチングファンドを出すことを約束したことが発表されました。また、Capital 地区が最近の地区大会で地区の目標を\$3 million にすることを決定しました。これに加えて、インデアナポリス大会での Key Club International の高校生達による\$3 million のプレッジは大きな花火になりました。また、8月に北米地域の7地区が\$8.3 million のプレッジをし、これにより世界全体で\$100 million に達することになりました。ラストスパートで大きな金額を目指すのがアメリカの特徴のようです。

【資料H8-2】

クラブ・ブレッジ達成状況
2015/7/30現在

ディビジョン	クラブ	内容	ブレッジ		金額		寄付総額	達成率	残り		達成日	寄付+ブレッジ		
			日付	会員数										
1 東京	東京	100K	2012/6/6		\$100,000.00	\$100,000.00	\$180,472.66	180%			2014/4/2			
		モデル	2012/6/6	220	\$165,000.00	\$165,000.00		109%				2015/5/20		
		個人ブレッジ								\$62,710.00				
		マッチング								\$9,600.00				\$302,231.36
		モデル	2012/8/20	46	\$12,075.00	\$12,075.00		101%	\$226,246.73				2015/3/27	
2 中部	金沢	モデル	2013/5/25	29	\$14,500.00	\$14,500.00	\$102,100.18	75%	\$3,674.63					
		シルバード												
		モデル	2012/6/15		\$100,000.00	\$100,000.00		102%				2014/7/31		
		モデル	2014/6/30	134	\$100,500.00	\$100,500.00		102%				2014/8/26		
		シルバード	2014/6/12	22	\$11,000.00	\$11,000.00		35%	\$122,413.77		\$7,137.61			\$139,636.93
3 関西西南	大阪	モデル	2012/7/18	35	\$26,250.00	\$26,250.00	\$112,924.31	62%	\$10,085.55					
		モデル												
		モデル	2013/11/26	71	\$53,250.00	\$53,250.00		93%						\$127,500.00
		モデル	2012/11/30	52	\$39,000.00	\$39,000.00		84%						
		モデル	2012/7/25	47	\$35,250.00	\$35,250.00		87%				\$4,594.78		
4 中国・四国	岡山	モデル	2013/6/13	69	\$34,500.00	\$34,500.00	\$58,429.82	32%	\$23,412.18					
		シルバード	2013/6/13	69	\$34,500.00	\$34,500.00		54%	\$33,874.54					\$130,825.67
		モデル	2012/10/12	98	\$73,500.00	\$73,500.00		122%					2014/12/24	
		モデル	2014/7/7	15	\$1,500.00	\$1,500.00		28%	\$15,109.13					
		モデル	2012/11/22	28	\$21,000.00	\$21,000.00		105%					2014/12/22	
5 関西北	神戸	モデル	2013/9/17	59	\$20,650.00	\$20,650.00	\$130,707.99	103%				2015/3/5		
		モデル	2013/2/21	30	\$22,500.00	\$22,500.00		171%					2013/5/24	
		モデル	2012/12/8	61	\$45,750.00	\$45,750.00		67%	\$3,823.62					
		モデル	2013/6/24	23	\$11,500.00	\$11,500.00		87%	\$5,456.91					
		モデル	2012/6/18	57	\$42,750.00	\$42,750.00		71%	\$5,644.97					\$76,000.00
6 北海道・東北	札幌	モデル	2013/11/12	55	\$19,250.00	\$19,250.00	\$55,168.27	31%	\$9,729.85					
		シルバード	2013/6/17	28	\$14,000.00	\$14,000.00								
		モデル	2012/6/14	56	\$42,000.00	\$42,000.00		128%					2014/3/14	
		モデル	2012/7/9	34	\$25,500.00	\$25,500.00		83%	\$4,369.74					\$107,348.21
		モデル	2013/6/15	56	\$28,000.00	\$28,000.00		94%	\$1,651.94					
7 関東	埼玉	モデル	2012/6/22	86	\$64,500.00	\$64,500.00	\$102,799.20	65%	\$22,420.09					
		モデル	2012/10/19	74	\$55,500.00	\$55,500.00		41%	\$32,800.13				2014/9/25	
		モデル	2013/2/26	33	\$16,500.00	\$16,500.00		138%						
		モデル	2014/11/20	35	\$26,250.00	\$26,250.00		99%	\$498.69					
		モデル	2013/6/14	24	\$12,000.00	\$12,000.00		44%	\$6,706.66					\$182,360.34
8 九州	福岡	モデル	2014/12/24	27	\$20,250.00	\$20,250.00	\$5,293.34	30%	\$2,475.00					
		モデル	2013/7/16	30	\$15,000.00	\$15,000.00		60%	\$5,960.57					
		シルバード												
		モデル	2014/11/20	35	\$26,250.00	\$26,250.00								
		モデル	2013/6/14	24	\$12,000.00	\$12,000.00								
日本地区 (外部)	徳島	モデル	2014/12/24	27	\$20,250.00	\$20,250.00	\$190.00							
		モデル	2013/7/16	30	\$15,000.00	\$15,000.00								
		シルバード												
		モデル	2014/11/20	35	\$26,250.00	\$26,250.00								
		モデル	2013/6/14	24	\$12,000.00	\$12,000.00								
日本地区 (外部)	徳島	モデル	2014/12/24	27	\$20,250.00	\$20,250.00	\$190.00							
		モデル	2013/7/16	30	\$15,000.00	\$15,000.00								
		シルバード												
		モデル	2014/11/20	35	\$26,250.00	\$26,250.00								
		モデル	2013/6/14	24	\$12,000.00	\$12,000.00								
合計				1,634	\$1,075,225.00	\$911,732.03		\$290,417.50	\$290,417.50		\$1,202,149.53			

クラブ数 2
100K 2
モデル 18
シルバード 9
ブロンズ 2

寄付総額+ブレッジ \$1,202,149.53
初期目標額 \$783,394.00
第2次目標額 \$1,046,650.00

PMA \$727.69 あと \$36,850.47 でモデル地区

116% 寄付額のみでの達成率
153% プレッジ込みでの達成率
87% 寄付額のみでの達成率
115% プレッジ込みでの達成率

国際会費増額について

決議案 7:「国際キワニス役員会は、2015 年に会員 1 人当たりの会費を下記のとおり増額を提案する。」(可決 賛成 75%、反対 25%)

Tier A 国 (国民 1 人当たり GNI \$10,000 以上) 現行\$42 を\$52 に。

Tier B 国 (国民 1 人当たり GNI \$5,000 以上) 現行\$27 を\$34 に。

Tier C 国 (国民 1 人当たり GNI \$4,999 以下) 現行\$18 を\$23 に。

決議案 8:「2016 年より、国際役員会の過半数の決裁により毎年 5%以内の国際会費の調整をするオプションを提案する。」(否決)

1. 国際キワニス Jane Ericsson 副会長及び Bob Broderick CFO より提案主旨の説明。

- (1) 国際キワニスでは最後に国際会費の増額をしてから 12 年になる。
- (2) 12 年の間に消費者物価指数は 20%上昇した。
- (3) 2003 年の\$42 は今日の\$33 に相当する。
- (4) 国際キワニスの役員会とスタッフは 2003 年から 12 年間同じ予算の下で働いている。
- (5) キワニスは 2005 年から支出を\$3.9 百万抑えてきた。スタッフの年金も廃止した。
- (6) 国際キワニスの全収入の 84%は国際会費に頼っている。
- (7) 1992 年から会員数は徐々に減っており、2005 年からは北米の会員数は 29%近く減少したのが収入源の主要因。
- (8) このままだとキワニスの運営資金は早ければ 2017 年には赤字となり、それをカバーするために無制約資金も枯渇する。
- (9) 国際キワニスでは現在、国際会費以外の収入源を模索しており、会費依存体質からの脱却を目指している。
- (10) \$10 の値上げは 1 月当たり 83 セント、コーヒー 1 杯よりも安価である。
- (11) 他団体の会費は、ソロプロティミスト\$52、ロータリー\$54、オプティミスト\$61、シビタン\$62、サートマ\$80、ライオンズが最低で\$43 であり、提案の\$52 はこのほとんどよりも低くなっている。
- (12) 今回の増額により、会員増強計画の推進、iPlan による戦略の実施により、キワニスの活動を充実させ、特に SLP 等のキワニスの特色をもったサービスの内容を拡大、充実させ、各地区、クラブへの教育、トレーニングの充実を図る。キワニス・ブランドの世界的な向上にも努める。

2. 質疑応答

- (1) コスト削減が充分だとは、思えない。会費増額の前にもっと経費カットを努めるべき。
- (2) 国際キワニスのメリットが自分たちには感じられない。値上げのメリットが認識できない。
- (3) 台湾は値上げに反対である。
- (4) その他種々の意見が出たが、投票の結果、75%の賛成があり、採決された。
- (5) 議案8の国際役員会に毎年5%以内の国際会費の調整をする権限を与えるという提案については、毎年5%ずつ上げたら5年で20%増額になってしまう。これがないと、やれないという趣旨が明確でない。会員が選んだ国際役員とはいえそこまでの権限を与えるのには賛成できないというような意見が多く、投票の結果得、反対が73%となり、否決となった。

表彰一覧

2015/9/1現在-2

内容	クラブ	受賞者	贈呈者	賞品
日本地区表彰				
キワニスワンデー・コンテスト (代表: 関西北ディビジョン 多田副ガバナー) 金賞 銀賞 銅賞	関西北 札幌 大分 名古屋 東京 大阪 仙台 福島	(副ガバナー) 多田 玲子 (会長) 駒崎 征明 渡邊 慶房 竹内 和男 吉田 浩二 大森 一彦 我妻 清一 上西 皓愼	小川ガバナー代理	目録
優秀クラブ賞 (代表: 名古屋クラブ竹内会長)	東京 名古屋 仙台 札幌 横浜 高松 京都 西宮 鹿児島 福島	(会長) 吉田 浩二 竹内 和男 我妻 清一 駒崎 征明 粟飯原 吉伸 家高 順一 吉川 了平 安原 裕 嶋田 光邦 上西 皓愼	小川ガバナー代理	表彰状
優秀会員賞 (代表: 埼玉クラブ清水会委員)	東京 東京 東京 名古屋 広島 広島 札幌 札幌 札幌 横浜 福岡 福岡 埼玉 埼玉 埼玉 西宮	石原 正之 藤原 武平太 吉國 眞一 吉田 浩二 竹内 和男 河尻 清 神出 亨 河辺 善一 林 誠 星野 尚夫 粟飯原 吉伸 長門 博之 山口 毅 男澤 望 清水 志摩子 丸山 晃 小池 和子	(後日郵送)	表彰状

